

サッカーの活動における 暴力根絶に向けて

スポーツ界全体でさまざまな動きが進んでいます。先日は、日本体育協会、日本オリンピック委員会、日本障害者スポーツ協会、全国高等学校体育連盟および日本中学校体育連盟の5団体が「スポーツ界における暴力行為根絶に向けた集い」を開催し、「暴力行為根絶宣言」が採択されました。各競技団体も、さまざまな取り組みを進めています。今回を機に、今一度、この問題を深く考え、指導者の役割、在り方について振り返る機会としたいと考えています。

起こったことに対応する体制を整えることと同時に、今後起こさないためのアクションこそが重要であると考えています。日本サッカー協会(JFA)でもさまざまな取り組みの準備を進めています。その進捗をご報告します。

1 暴力根絶の宣誓をしよう！

スポーツの活動における暴力の今後一切の根絶をJFAとして宣言し、有資格指導者の皆さんの宣誓をお願いします。今号の本誌に文書を同封させていただいています。ご確認の上、宣誓の署名をし、必ずご返送いただけるようお願いいたします。

「指導者登録番号」「氏名」を記入し、忘れずに返送をお願いします。くれぐれも見落とし、送付忘れ等のないよう、周囲の指導者の皆さんとも声を掛け合ってください。万が一、本誌がお手元に届かない場合のために、ホームページに掲載、有資格指導者向けメールマガジン、リスバクトF.C. JAPANのホームページおよびメールマガジンでも情報をお伝えしています。原則FAXでの返信をお願いしますが、FAXを送付する環境がない場合、郵送も受け付けます。

ぜひとも皆さんの宣誓を、よろしく願いいたします。

以後、資格更新時に毎回全員に本件の確認をさせていただきます(公認指導者登録制度に追記)。

また、ライセンスをお持ちでない指導者の方にも、ぜひともご賛同、ご協力いただきたく、登録チームを通して同様に呼び掛けをさせていただきます予定です。

2 サッカー指導環境の改善

◆指導者の指導力アップ

◆指導を受ける環境の改善

指導現場での暴力がなぜ起こるかをあらためて考えたときに、その原因の柱となる要素として、「指導者の指導力」「コミュニケーション能力」が挙げられると考えます。

指導者としてのフィロソフィー、価値観の再確認、発育発達に関する知識、コミュニケーションを含む指導法に関する知識を、あらためてカリキュラムの中、あるいはリフレッシュ研修の中で強化していきます。また、より多くの指導者に勉強をしていただくため、また勉強をし続けていただくために、講習会の増設、受講しやすさへのアプローチ、十分な情報提供をしていくべく取り組んでいきます。そうすることで、子どもたちがサッカー、スポーツを心から安全に楽しむためのベースとなる指導環境を整えていきたいと考えています。

①カリキュラムへの内容の強化

2013年度より、公認D級以上の各ライセンス講習に暴力根絶に関連する内容を強化させていただきます。また、リフレッシュ研修教材を用意します。こちらは10月以降の開始とさせていただきます。Eラーニング化も検討し、既ライセンス取得者全員に一度受講していただき

たいコースとします。

②研修機会の充実

より多くの指導者に、勉強をし、またし続けていただくために、さまざまな検討・準備を、各種連盟とも協議しつつ実施しています。

- ・公認D、C、B級ライセンス講習会の増強
インストラクターを増やすことで、これらの講習機会を広げていきます。
- ・全種別の登録チームに有資格指導者がいる状態をつくることを目指し、受けやすさ、内容の検討。

3 プロモーション、啓発

私たちは、サッカーの活動における指導者の在り方にアプローチをしますが、この問題は、もっと広く、社会全体に関わる問題でもあります。広く一般に向けてもプロモーション、啓発をしていくことが重要であると考えます。

また、海外には先行事例が多くあります。それらを参考に、日本の社会に合った制度、取り組み、発信を考えていきます。

さらに、私たちがすでに掲げていた「Players First」「リスバクト」「めざせベストサポーター」等の考え方、そして発信のツールを生かし、プロモーションしていきます。

スポーツの本質は、楽しみであり解放であり自発に基づくものです。サッカーのさらなる発展のため、指導者はそういったプレーヤーたち以上に真摯(しんし)に取り組むを続けていくことが大切です。プレーヤーたちがサッカーを楽しみながら向上していくこと、内的動機づけに基づき挑戦していく心に火をつけること、そしてそれを支援することも指導者の重要な使命なのです。

われわれ自身も自ら気を引き締め、全国で子どもたちの指導にあたっておられる指導者の皆さんと、互いに信頼し合い、協力し団結して、より良い指導環境をつくっていきたくと考えます。指導者の皆さんを今まで以上に支援することで、ぜひ関わる全員で力を合わせ、日本のサッカーのあらゆる指導現場を、真の達成感と笑顔のあふれる豊かなものにしていきたくと思えます。

FAX送付先 03-3830-1814

(公財)日本サッカー協会技術部「宣誓書受付係」宛

郵送先 〒113-8311 東京都文京区サッカー通り JFAハウス

(公財)日本サッカー協会技術部「宣誓書受付係」宛